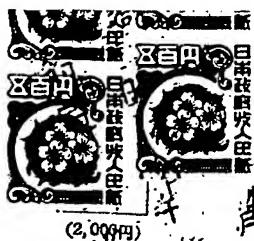


## Cooked-Article Order Device

### 2. CLAIMS

A cooked-article order device comprising an order-display machine that displays the type and the points of a cooked-article(s) selected after inserting/dropping in currency and performing the operation of selecting [desired] cooked-article(s), and a meal-ticket vending machine [Lit., sales-release machine] with the above-mentioned content.

**ABSTRACT OF JP 49-58899**



① 日本国特許庁  
公開特許公報

特 許 願 01

特許庁長官 井 土 武 久 殿

1. 発 明 の 名 称 料理品注文装置

2. 発 明 者

住 所 特許出願人と同じ  
氏 名

3. 特 許 出 願 人

住 所 東京都港区白金4丁目4番11号  
氏 名 飯 野 日 吉  
(国 籍)

4. 代 理 人 丁

住 所 東京都新宿区新宿4丁目14番地  
氏 名 (5862) 弁理士 安 井 照 男 名

5. 添付書類の目録

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面   | 1 通 |
| (3) 願書副本  | 1 通 |
| (4) 委 任 状 | 1 通 |

①特開昭 49-58899

④公開日 昭49.(1974) 6. 7

②特願昭 47-99224

②出願日 昭47.(1972)10. 3

審査請求 未請求 (全 3 頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6747 25

115 E1

6376 54

101 E9

明 細 書 01

1. 発 明 の 名 称 料理品注文装置

2. 特 許 請 求 の 範 囲

貨幣の投入と料理品選択操作とにより、選択料理品の種類および点数を表示する注文表示機と上記内容の食券の発売機とよりなる料理品注文装置。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

この発明は食堂において客はボタンを押して料理品の種類を選択し、かつ料金を投入すると食券が発行されると同時に、調理室へ料理品の種類と点数が表示されるもので、すなわち貨幣の投入と料理品選択操作とにより、選択料理品の種類および点数を表示する注文表示機と上記内容の食券の発売機とよりなるものである。

現在前払い方式の食堂では、客は食券売場で売子に料理品の種類と点数を告げ、料金を支払つて食券を受取り、給仕人は食券の半券を預り、これを調理室に示し、できた料理品を注文客まで運んでいるが、注文客を忘れたり、料理品を取り違えたり、注文順を間違えたりする不都合がある。

またセルフサービスの食堂では料理受渡口に食券を出し、調理室はこの食券に従つて注文料理を作り、受渡口から渡しているが、客が受渡口に食券を出してから料理を作るため、客を待たせることになり、なお料理品によつては数人分を同時に作る方が能率的なものがあるが、先着順に料理を作らなければならないために、それができず、能率を阻害している。

この発明はこれらの不都合を解消したもので、次に図面について説明すれば、食券発売機(1)に、料理品選択ボタン(2)(3)(4)……貨幣投入金額表示計(5)を設け、発行機(1)の出力端子を記録装置(7)、および記憶装置(8)を介して注文表示機(9)に接続する。配膳機(10)は、料理の種類毎に窓口(11)(12)(13)……を有し、各窓口へ料理品の容器を置くと順番番号が表れる表示器(14)食券投入口(15)等を具える。

次にセルフサービスの食堂について動作を説明すれば、客が発売機(1)の投入口(5)へカレーライス 2 人前の金額 300 円の硬貨を投入し、かつカレーライス選択ボタン(2)を 2 回押すと、順番番号「

18」「19」を記した2枚の食券A、Bが発行機20から発売される。

この出力は記録機(7)によりテープ22に記録され、また記憶装置(8)に記憶されるとともに調理室の注文表示機(9)に送られ、「カレーライス」の位置の表示計10に「2」が表示される。

料理人はこれを見てカレーライス2人前の注文を知り、これを作つたならば配膳機10のカレーライスの窓口11に1人前の皿12を置けば、表示器13に順番番号「18」が表示される。

よつて客は「18」の番号が記された食券Aを投入口14に投入すれば、扉が開きカレーライス15が取出される。

続いて更に1人前の皿が窓口11に置かれ、「19」の番号が表示されたなら、食券Bをもつて同様に取出す。

表示器13に表示された番号以外の食券を投入しても、料理品を取出すことはできないから、食券を買つた順に渡すことができる。

なお、順番番号を一切使用せずに、窓口111019

……に並んだ順に料理品を受取るようにしてもよい。

窓口11に置かれた料理品の数は計数されて、表示器(9)の数字を減数するから、料理人は注文の有無が分る。

この発明装置は、食堂において客が所望の料理品の料金を投入し、かつ選択ボタンを押すと食券が発売され、同時に調理室には注文内容、すなわち料理品の種類と点数が表示されるから、これを見て注文と同時に料理を作ることができ、客も待つ時間が短くてすむ。

また表示機によつて全般的な注文状況が分るから、同一種類の料理をまとめて作ることにより、更に能率をあげることができるものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

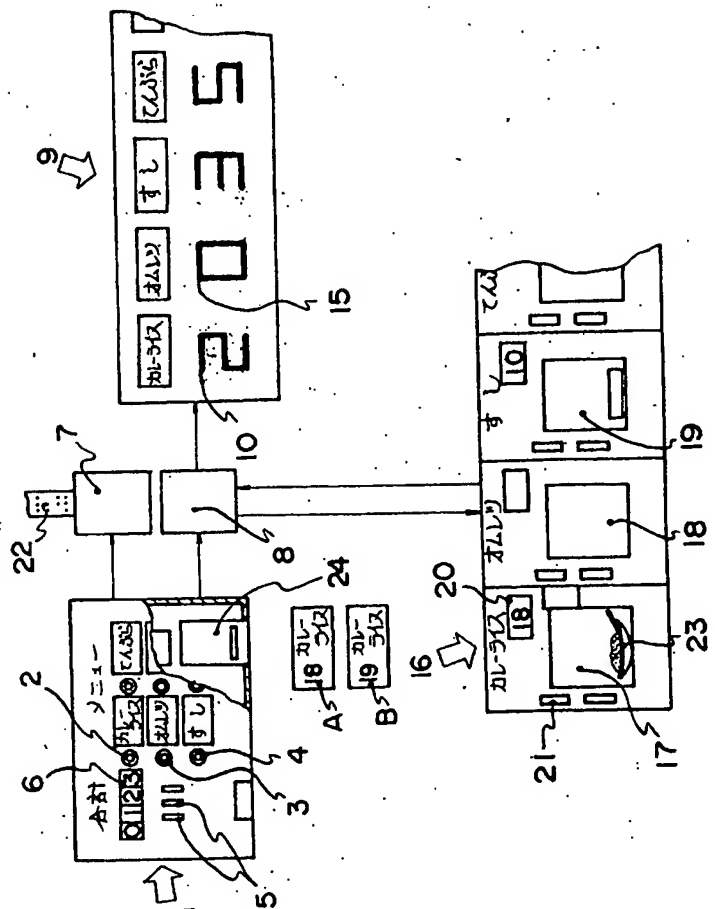
図はこの発明装置の説明図である。

- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| (1)：食器発売機 | (2)(3)(4)：料理品選択ボタン |
| (5)：貨幣投入口 | (6)：表示計            |
| (9)：注文表示機 | 10(15)：表示計         |

発明者 龍 野 日 吉  
出願人

代理人 安 井 照  
弁理士

代理人 菊 池 敏 夫  
弁理士



6. 前記以外の代理人

東京都新宿区新宿4丁目14番地

(7308) 弁理士 菊池 敏夫